

標高500メートルの爽やかな香り 11/16

「しずおか食セレクション」認定、作付面積・生産量が県内一の町内で、収穫作業が行われました



「さわやかな香りをぜひ堪能してほしい」と話す和充さん

町内で生産される「川根ゆず」の収穫が最盛期を迎え、標高約500mに位置する湯下和充さん(久保尾区)の農園でも収穫作業が行われました。この日は、和充さん・文枝さん夫妻と近所の方が、鋭いとげに注意しながら鈴なりに実った黄色い実をていねいに収穫しました。和充さんは「今年は、収穫量としては例年よりも少ないが、大ぶりで皮も厚く香りの強いゆずに育ってくれた」と笑顔で話しました。収穫されたゆずの一部は、ジュースやジャムなどにも加工され、県内外に出荷されます。

「空からの支援」を体感 11/13

災害による孤立集落の発生を想定、住民も参加して訓練を実施



多くの近隣住民が集まり、消防ヘリを間近で見学

高郷河川敷多目的広場(高郷区)にて、消防ヘリを活用した訓練が行われ、静岡市消防局航空隊と島田消防署の隊員約20人、尾呂久保地区と八中地区の自主防災会員5人が参加しました。最初に、消防ヘリ「カワセミ」が孤立集落に見立てた地点から傷病者役を引き揚げて、地上で待機する北出張所の救急隊へと引き渡す訓練が行われました。続いて、「カワセミ」が救援物資を吊り上げ、自主防災会員の元へと投下しました。訓練の最後には、自主防災会員がヘリに搭乗し、実際に上空から集落の様子を確認しました。

12/6・12/7 温泉街ににぎやかな声響く

1957年12月7日に温泉が初めて湧き出たことを記念し毎年開催

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合主催の「温泉感謝祭・供養祭」が同温泉街イベント広場で開催され、多くの来場者でにぎわいました。会場では、山の幸をふんだんに使った鍋料理やそばなどが来場者に振る舞われたほか、ステージでは赤石太鼓の演奏や「第12回和紙のあかり展」入賞者の表彰などが行われました。また、てんぐや山伏にふんした組合員やたいまつを持った地元住民らが温泉街を練り歩き、使われなくなった道具を供養するとともに温泉街のさらなる発展を祈願しました。



冷え込む会場では、熱々の里芋や八つ頭が人気を集めた

11/11 五感で楽しむ深まりゆく秋

秋の恒例行事「奥大井ふるさと祭り」を盛大に開催

「奥大井ふるさと祭り」(同実行委員会主催)が、道の駅「奥大井音戯の郷」駐車場を会場に開催され、多くの観光客や町民でにぎわいました。秋空の下、訪れた来場者は販売・展示ブースで地場産品を買い求めたり、特設ステージでの催しを楽しみました。



最後の「景品付き餅投げ」では、多くの参加者で盛り上がった

ステージ出演者の皆さん

(上段左から)赤石太鼓保存会、大道芸人「あまる」さん、商工会「ディーアドダンス」、シンガーソングライター「yosu」さん。(下段左から)ものまね芸人「マロン陵」さん、J A おおいがわ農産物PRユニット「茶果菜」、中川根中学校音楽部。



「川根茶の魅力」心ゆくまで 11/23

町内2カ所を巡って川根茶を楽しむ「川根時間」が開催されました



「極みの間」で茶談議に花を咲かせる川崎好和さんと参加者

「第7回川根時間」(同実行委員会主催)が千葉山智満寺(上長尾区)と道の駅「フォーレなかかわね茶茗館」(水川区)にて開催されました。智満寺会場では、全国品評会での上位入賞茶を楽しめる「極みの間」と15種類の川根茶から好みのものを飲む「匠の間」が人気を集め、参加者はその香りと味を存分に堪能していました。茶茗館会場では、味や香りから品種を当てる「茶歌舞伎」の体験会や、釜炒り茶をグラスで味わう「TACHIKAMA」の試飲なども行われ、来場者は川根茶の魅力が大いに楽しみました。